

お茶の水女子大学連携講座「臨海実習」

を実施しました

- 実施日 事前指導：令和6年6月13日（木）
実習：令和6年7月6日（土）～7日（日）
- 参加生徒 普通科1年4名 2年7名 理数科1年5名 2年4名 計20名
- 連携機関名 お茶の水女子大学 湾岸生物教育研究所

□内容

1日目『海洋生物の採集と分類』

当日は晴天に恵まれ、お茶の水女子大学の清本先生・宇田川先生と沖ノ島（館山市）の海岸で1時間ほど海洋生物の採集を行いました。干潮の時間を考慮して、波打ち際から徐々に浜に向かって採集をしました。事前指導により興味を持ったナマコやウミウシを中心に採集した班もありました。他にクモヒトデやムラサキウニ、カニ、貝類などを見つけることができました。これらの生物を研究所に持ち帰り、同定・観察を行いました。系統に関する講義を受け、自分の興味を持った生物についてグループを再編成し、さらに探究しました。夜間にはウミホタルの採集を行い、発光の様子を観察することができました。

2日目『動物の系統進化とテーマ別学習』

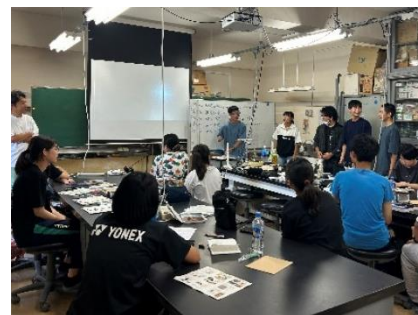
宇田川先生やTAの方と班ごとにさらに観察・実験を行い、知識を深めていきました。午後にグループ発表を行い、先生方から講評をいただきました。「カニのはさみと食性」「ナマコの捕食から排出」「ウニの反転速度と生息場所」「ウミウシの特徴とその考察」など興味深い発表がなされました。コロナ禍以前の実習形態に戻し、普通科・理数科・学年の枠を超えてグループで活発に議論を行うことができたのは大きな収穫でした。



昼間の採集の様子



ウミホタル採集の様子



グループ発表の様子

□生徒の感想

- ・講師の清本先生と宇田川先生に質問をさせていただくと、丁寧な解説に加えて関連する生物のことも教えてくださったので、疑問が解消されるとともに自分の視野や興味が広がった。
- ・研究は2年生の先輩もいて緊張もしましたが資料を活用して種の判別や観察・考察の話合いができて発表準備もギリギリですが完成できて嬉しく、とても熱中しました。
- ・今回の実習で今まで全く知らなかった動物や、普段では絶対に触らない動物を知り、触ることが出来てとても楽しく学びの深い実習だったなと思います。とっても楽しかったので後輩にもおすすめしたいです！